

編集後記

●編集委員 (50 音順)

池田 徳彦 大須賀 穰 小澤 壯治 北川 雄光 北野 正剛
近藤 幸尋 坂井 義治 森 俊幸 山本 学

本年から本誌編集委員を拝命し、初めて編集後記を執筆させていただくことになりました。現編集委員はもちろん、歴代の諸先生方はすべて名実共にリーダーばかりであり、私ごときが名を連ねてよいものかどうか、いまだに疑問を残しつつ任務をこなしております。

実際の仕事としては、第一に投稿していただいた論文を査読し、その内容や記述の是非を検討することです。私も国内外の雑誌に論文を投稿してまいりましたが、常に気を付けているのは論文の「起承転結」と読みやすさです。実際に本誌の投稿論文を拝見しますと、この2点が必ずしも守られていないことに気が付きます。読んでいて「あれ?」と思って読み返したり、最後に唐突な結論が書かれていたりしますと、内容そのものの焦点がぼやけてしまうことさえあります。皆様それぞれ臨床の場において素晴らしい理念と業績をお持ちになっておられるのですが、論文を書くにはまた少し違った能力を発揮しなければなりません。読んでいてなる程と感心したり、一気に読み終えることができた文章は、きっと前述した2点がうまく調和したものなのだと思います。もしそのような論文に出会うことがありましたら、是非模倣してみて下さい。せっかくの素晴らしい業績が、表現法の問題で不採用になるのは編集委員として大変心苦しいものですから… (もちろんその根本には、残念ながら限られた誌面である、という事実もございます)。掲載に至るためには、論点のポイントがぶれず、説得力のある文章が必要です。

次に与えられましたのはアメリカとヨーロッパの内視鏡外科学会、SAGESとEAESの学会誌であるSurgical Endoscopyの中から面白そうなものを読み、要約してコメントをしる、というものです。恥ずかしながらこの仕事を与えられ、毎号必ず目を通すようになりました。「もっと勉強せよ!」の叱咤と受け止め、お役目を頂戴する限り頑張りたいと思います。

私事ですが、本誌編集委員以外に、現在アメリカの雑誌Surgical Technology InternationalとSurgical Innovationでeditor、Archives of SurgeryのInternational Advisory Board、Surgical Endoscopyのreviewerを拝命しております。それぞれの雑誌から毎月査読が届き、世界中の投稿論文をいち早く目にすることが出来ます。その経験を通して、日本の内視鏡外科は世界的にトップレベルであると実感しており、日本語とは言えJSESに掲載される論文はみな素晴らしいものです。是非自信を持って、編集委員が感激するような論文を、起承転結と読みやすさに配慮しつつどしどし投稿して下さい。

ちなみに論文の査読は複数の編集委員で行っており、最終的に編集委員会で採否が決定されますので、不採用になっても私を恨まないで下さいませ!

(山本 学)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第15巻 第6号) 2010年12月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価2,940円(本体2,800円+税5%)となります。

2010年 年々ぎめ予約購読料: 17,160円(税込)(配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北野正剛)

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F 一般社団法人学会支援機構内

☎ 03-5981-6011 (Fax 03-5981-6012/E-mail: jses@asas.or.jp) (担当: 佐々木, 小山)

<http://www.asas.or.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 4F, 5-3-13 Otsuka Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0012, Japan

©2010, Printed in Japan

発売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 土田, 田村, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

拡張バルーンを使用しない TEPP (Totally extraperitoneal preperitoneal repair)

法の検討 北村雅也・他 石心会川崎幸病院消化器病センター外科
当院における付属器腫瘍茎捻転症例の検討 松岡正造・他 順天堂大学医学部産婦人科
先天性 C 型食道閉鎖に対する胸腔鏡下根治手術 漆原直人・他 静岡県立こども病院小児外科
治癒切除不能 StageIV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の

比較検討 校園和彦・他 国立病院機構四国がんセンター外科
腹腔鏡下胆嚢摘出術時における肝外胆管・胆嚢管合流形態の画像診断

—DIC-CT と MRC の比較 岡本佳樹・他 香川大学消化器外科

●症例報告

内視鏡的整復後待期的に腹腔鏡補助下結腸切除術を行った S 状結腸軸捻転症の

1 例 久下博之・他 星ヶ丘厚生年金病院外科
胸腔鏡補助下で切除した PET 陰性食道粘膜下腫瘍の 1 例 羽入隆晃・他 新潟大学大学院消化器・一般外科
単孔式腹腔鏡下手術にて切除した胃内発育型 GIST の 1 例 角谷慎一・他 富山県済生会高岡病院外科
重複胆嚢管を認めた胆嚢結石症の 1 例 中村謙一・他 守口敬任会病院外科
診断的腹腔鏡が有用であった肝硬変合併結核性腹膜炎の 1 例 波多 豪・他 神戸労災病院外科
嵌頓ヘルニアに対して腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した 1 例 佐近雅宏・他 信州大学医学部外科
左側胆嚢結石症に対して手技の工夫により安全に腹腔鏡下手術を施行

しえた 1 例 水内祐介・他 北九州市立医療センター外科

●手術手技

経口アンビルを用いた食道空腸吻合を安全・確実に施行するための工夫 金丸太一・他 神戸労災病院外科
直腸癌に対する腹腔鏡下前方切除術における助手の役割 西澤祐史・他 国立がんセンター東病院大腸骨盤外科

ただし頁の都合により変更があります。ご諒下下さい。